

IX 新幹線鉄道騒音の状況

1 新幹線鉄道騒音の監視

新幹線鉄道騒音の環境基準の類型を当てはめる地域は、環境基本法第 16 条第 2 項に基づき、県知事が定めている。

県内では、県、静岡市、浜松市及び富士市が、新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況を確認するために、新幹線鉄道沿線地域において調査を実施している。

平成 30 年度に実施した調査の実施状況は、表IX-1 のとおりである。

表IX-1 調査の実施状況

軌道中心からの距離	測定地点数				
	県	静岡市	浜松市	富士市	合計
25 m	7	11	2	6	26
50 m	7	11	2	6	26

2 新幹線鉄道騒音の環境基準

新幹線鉄道騒音に係る環境基準は、生活環境を保全し、人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい基準であり、以下のとおり定められている。

表IX-2-(1) 新幹線鉄道騒音に係る環境基準値

地域の類型	基準値 (dB)
I	70 以下
II	75 以下

(注) 基準値を示す指標は、列車ごとの最大騒音レベルの平均値 ($L_{A, Smax}$ 、単位デシベル(dB)) である。

表IX-2-(2) 新幹線鉄道騒音に係る環境基準の地域のタイプの指定

地域の類型	該 当 地 域
I	別表に規定する区域のうち第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域及び田園住居地域並びに都市計画区域内の用途地域の定めのない地域
II	別表に規定する区域のうち近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域

備考 第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域は、都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 8 条の規定により定められた地域をいう。

別表

静岡県内に敷設された新幹線鉄道の軌道の中心線から両側にそれぞれ 400 メートル以内の区域（富士川、安倍川、大井川及び天竜川の橋りょうに係る部分については別図 1 から 4 までに表示する区域とし、トンネル、都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 8 条の規定により定められた工業専用地域、河川法（昭和 39 年法律第 167 号）第 6 条第 1 項に規定する河川区域、地方自治法（昭和 22 年法律第 617 号）第 252 条の 19 第 1 項の指定都市市内を含む区域（新幹線鉄道騒音に係る環境基準の類型を指定する地域が 2 以上の市町の区域となる場合を除く。）及び別図 5 に表示する区域を除く。）

別図 1 から 5 まで（省略）

3 新幹線鉄道騒音の調査結果

新幹線鉄道沿線地域において測定した結果、軌道から25mの調査では26地点のうち13地点(50.0%)、軌道から50mの調査では26地点のうち22地点(84.6%)で環境基準を達成した。

表IX-3 新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況

No.	測定地点	地点側の軌道 (上下線別)	類型	基準値 (dB)	軌道から12.5m		軌道から25m		軌道から50m	
					評価値 (dB)	適否	評価値 (dB)	適否	評価値 (dB)	適否
1	沼津市花園町	下	I	70	—	—	69	○	64	○
2	沼津市青野	上	I	70	—	—	66	○	61	○
3	富士市境	下	I	70	—	—	73	×	71	×
4	富士市江尾	下	I	70	—	—	74	×	72	×
5	富士市川尻	上	I	70	—	—	71	×	68	○
6	富士市前田	上	II	75	—	—	72	○	67	○
7	富士市宮島	上	I	70	—	—	71	×	66	○
8	富士市中之郷	上	I	70	—	—	77	×	69	○
9	静岡市駿河区石部	下	I	70	—	—	72	×	66	○
10	静岡市駿河区鎌田	上	I	70	—	—	72	×	67	○
11	静岡市駿河区曲金	下	I	70	—	—	69	○	65	○
12	静岡市駿河区栗原	上	II	75	—	—	71	○	64	○
13	静岡市清水区中之郷	下	I	70	—	—	67	○	66	○
14	静岡市清水区長崎南町	上	I	70	—	—	72	×	67	○
15	静岡市清水区渋川	下	II	75	—	—	72	○	67	○
16	静岡市清水区袖師町	下	I	70	—	—	69	○	63	○
17	静岡市清水区横砂	上	I	70	—	—	72	×	71	×
18	静岡市清水区谷津町	下	I	70	—	—	68	○	63	○
19	静岡市清水区由比阿僧	下	I	70	—	—	68	○	67	○
20	藤枝市高洲	下	I	70	—	—	68	○	62	○
21	藤枝市善左衛門	上	I	70	—	—	73	×	71	×
22	島田市大柳	上	I	70	—	—	72	×	65	○
23	磐田市前野	下	I	70	—	—	70	○	70	○
24	浜松市南区鶴見町	下	I	70	—	—	71	×	67	○
25	浜松市西区舞阪町舞阪	上	I	70	—	—	71	×	69	○
26	湖西市新居町	下	I	70	—	—	70	○	68	○

(注) 基準値及び評価値は、列車ごとの最大騒音レベルの平均値 ($L_{A, Smax}$ 、単位デシベル(dB)) である。